

第1回
SFK施設見学会
報告

終生、自分らしく暮らす住まい
「シルバーヴィラ向山」
「アブランドル向山」を見学



↑代表取締役社長の岩城隆就氏。北海道大学卒業後、三菱商事本社、ロンドン勤務を経て現職。楽しい高齢社会を作る会事務局長、社会福祉士

←シルバーヴィラ向山の前で

去る9月9日(水)、当法人および関連団体から15名が参加して第1回SFK施設見学会が行われました。当日は練馬区の閑静な住宅地にたつ有料老人ホーム「シルバーヴィラ向山」とコレクティブハウス「アブランドル向山」を見学。施設を運営する株式会社さんわ代表取締役社長の岩城隆就氏にお話を伺いました。

「シルバーヴィラ向山」は、終生自分らしく安心して暮らせる「長期滞在型ホテル」を指して、1981年、前社長の岩城祐子さんによつて設立。入居条件・管理規定は一切なし、飲酒も門限も自由、ベットも可という、個人の尊厳を大切にしているユニークな運営は、久田恵著「母のいる場所―シルバーヴィラ向山物語」などでも知られています。

実際に訪れると、ダイニングルームではテレビを楽しむ入居者の隣でスタッフが遅めの昼食をとっていたり、別の部屋ではお茶会や出張理容室が行われていたり、広い館内はどこも開放的で活気に満ちています。要介護になっても社会との接点が大事との思いから、さまざまなイベントを行ったり、上の階の入居者も自由に上り下りできるような階段の両側と中央に手すりを設けるなど(両手で支えることで楽に移動できるそうです)、随所にきめ細かな工夫が凝らされています。

「シルバーヴィラ向山」の入居者は平均年齢87歳で、大半は要介護度4〜5。一方、隣接する「アブランドル向山」の入居者は、平均年齢83歳で約半数が自立の方々。こちらはより自立



↑アブランドル向山のラウンジで講演会。質問も相次いだ



→浴室の隣では出張理容室が店開き



→開放的で明るいリビングルーム



→厨房は両施設とも直営。「音や匂いも大事」とオーブンキッチンを採用

施設概要

- **シルバーヴィラ向山**
開設：1981年(昭和56年)
類型：住宅型有料老人ホーム
居住の権利形態：終身利用権方式
居室：全室個室(117室)
- **アブランドル向山**
開設：1997年(平成9年)
類型：コレクティブハウス(集合住宅)
居住の権利形態：賃貸方式
居室：全室個室(45室)
- ◆ **事業主体**
株式会社さんわ
〒176-0022 東京都練馬区向山3-7-11
TEL 03-3999-5416
URL <http://www.silvervilla.com>

参加者のひと言 自由時間倶楽部 柴田純一さん

「老人ホームに関心があり、これまでも講演会などでお話を聞いてきましたが、実際に施設を見学するのは初めてでした。経営する岩城さんの高齢者への細かい配慮と開放的なお考えには感動しました。またこのような機会がありましたらぜひ参加したいと思います」

した生活を望む人向きの集合住宅として開設され、食事や生活支援・介護などのサービスを希望に応じて利用できるほか、「シルバーヴィラ」への住み替えも可能です。住み替えても年金程度で暮らし続けることができるよう設計されているそうです。

両施設とも居室は全室個室ですが、「シルバーヴィラ」の個室のほうが小さめなのは、入居者がどんな人かを考えた結果。「歩幅が変わると生活スペースの感じ方も変わる。高齢者の経年変化を想定することが大切」と岩城氏はいいます。また職員の平均年齢が56歳と高めなのは、「介護者は『老い』のわかる人、『老い』に共感もてる人がいいから」との説明に、参加者も大いに納得。さらに「シルバーヴィラ」を「住宅型」有料老人ホームにした理由、入居一時金の償却期間の考え方など、興味深いお話を次々に披露していただきました。

最後に「施設の運営は、社会づくり。自立でも要介護でも、認知症や末期がんの人でも、一緒に暮らせる社会をつくっています」と締め括った岩城氏。含蓄に富んだお話はどれも感銘深く、充実した見学会となりました。